

■ 新たな年を迎えて

個人も地域も、もちろん役場も、常に「進化」していかなければならない。
そのための努力を惜しまない役場でありたい。

新年あけましておめでとうございます。
皆さまには、さすががしく新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。
旧年中は、町政の様々な分野にわたりまして、町民の皆さまのご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。
また、昨年3月には「第1次川根本町総合計画」が、多くの町民の皆さまの協力を得て策定されました。今後10年間のまちづくりを進めていくための指針とするものです。
川根本町が元気で輝いた地域であり、個性と魅力ある生活環境を維持していくために、地域コミュニティの潜在力を活かした自主・自立した地域づくりとともに、他地域との交流の拡大とその基盤の充実が必要です。
本町では、南アルプスの魅力を発掘・保存・発信するための「南アルプス世界遺産登録推進協議会」の活動、各種

団体と連携して「グリーンツーリズム」のモデルツアーの実施、特産品である川根茶を様々な形で学び、体験する「川根茶塾」の開催、寸又峡「和紙のあかり展」など特徴のある温泉地づくりなど、さまざまな取り組みをスタートしております。地域が育んできた自然、生活、文化の資源を広く国内外の人々に開放し、「ゆとり」や「やすらぎ」のある自然・生活体験を提供する様々なプログラムの充実をさらに進めていくことが求められています。
交流・連携は、その地域が多様な個性、伝統や文化を含む地域資源への自覚、誇りを持つことが大切です。川根本町が独自の価値と魅力を持つことで、人・もの・情報・知恵の交流が進み、活性化するとともに、他地域との連携も可能となります。
「環境」「景観」「文化」が、地域の価値に大きな影響を与えます。地域コミュニティの

平成20年1月号 目次

- 2…新たな年を迎えて ~新年のごあいさつ~
- 4…感想文特選作品紹介第2回
- 10…後期高齢者医療制度が始まります
- 12…しずおか市町村対抗駅伝レポート
- 14…トピックス：40歳以上の健診が変わります
- 15…役場の窓辺から
- 16…まちの話題
- 18…生涯学習のひろば
- 20…くらしの情報ページ
- 22…みんなの広場
- 24…学校レポーターズコラム
- 綴じ込み…くらしのカレンダー

※今号は「地球にイイコト始めよう」はお休みします

力も活かしながら、この3要素を守り高めることで、持続的に栄える川根本町を多くの人の協力連携で創っていきたいと思います。
今後、昨年9月に本町で開催され、上流域の山間地が持つ魅力と、それらを守り活かす方策が話し合われた「全国まちづくりフォーラムin奥大井」の成果や、「川根本町総合計画」の基本理念に基づいて、町民と行政の協働、情

報の公開・共有によるまちづくりを進めてまいります。
既に時代は「進歩」「発展」のみを追及していく時代ではないと思いますが、個人も地域も、もちろん役場も常に「進化」はしていかなければならないと思います。
平成20年が町民の皆さまにとりまして、幸せ多い年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたしま

川根本町長 杉山嘉英

「他地域との交流・連携を推進するためには、川根本町が持つ多様な個性や伝統・文化を含む地域資源を自覚し、誇りに感じる事が大切」と語る杉山嘉英町長。
第1次川根本町総合計画に掲げられる「町民と行政が手を携え、ともに歩み続ける町」の推進のため、今年はどうな町政を展開していくのか。平成20年初頭のあいさつを述べていただきました。